

ボートでの巴川ごみ滞留状況調査

◆アピールポイント	○ 世界的に問題になっている海洋プラスチックごみ問題を自分事としてとらえることができるよう、巴川をボートで下りながらごみを拾い、その量や内容を調査します。 ○ この調査は、環境省の支援を受け実施します。調査の結果や映像を活用して、全国の小学校へ展開する海洋プラスチックごみ問題啓発動画教材を静岡市が制作していきます。 ○ ごみ滞留状況調査に併せて、巴川の上流に位置する麻機遊水地にて繁殖が確認されている特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の拡散・定着状況の調査を同時実施します。
◆調査日時	令和6年11月28日（木） ① 9時30分～11時30分 ②13時30分～15時30分 （雨天延期：29日）
◆場所	①清水区区間：高部みずべ公園（能島）から江尻親水護岸（江尻町）まで 約2.5 km ②葵区区間：上土巴川広場（東千代田）から古庄大橋（古庄）まで 約2.0 km
◆内容など	（1）海洋プラスチックごみ問題とごみ滞留状況調査 【海洋プラスチックごみ問題とは】 ポイ捨てや放置されたプラスチックごみが河川などを通じて海へ流出したもので、生態系を含めた海洋環境の悪化や漁業や観光への影響など、国内外で様々な問題を引き起こしています。 静岡市の海岸にも多くの海洋プラスチックごみが漂着・漂流しています。市民団体等が定期的に清掃活動を実施しているものの、すぐにごみが溜まってしまう状況となっています。 【ごみ滞留状況調査の概要】 対象区間をボートで移動し、護岸や水草に引っ掛かっているごみの状況を撮影するとともに、ごみの引き上げを行います。引き上げたごみは、種類や量を記録します。また、食品の容器包装については賞味期限・消費期限を調べ、ごみが発生した時期を推定します。 （2）特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」拡散・定着状況調査 【ナガエツルノゲイトウとは】 主に水辺に生育し、“地球上最悪の侵略的植物”とも呼ばれている植物で、わずか数センチの茎の断片からも再生する強い繁殖力を持ちます。麻機遊水地で2014年に初めて確認され、市民団体等が駆除作業を続けているが繁殖拡大していて、巴川水系への拡散・定着が心配されています。 【拡散・定着状況調査について】 上記のボート調査の際に、生息状況を目視で確認します。ナガエツルノゲイトウと疑われる個体は採取し、同定を行います。確認できた箇所を地図にまとめ、対策の検討資料とします。
◆備考	駐車場所の調整などが必要ですので、取材いただける場合は、事前に下記問合せ先までご連絡ください。

別紙資料 有

【問合せ】（1）取材の申込み、海洋プラスチックごみ問題について

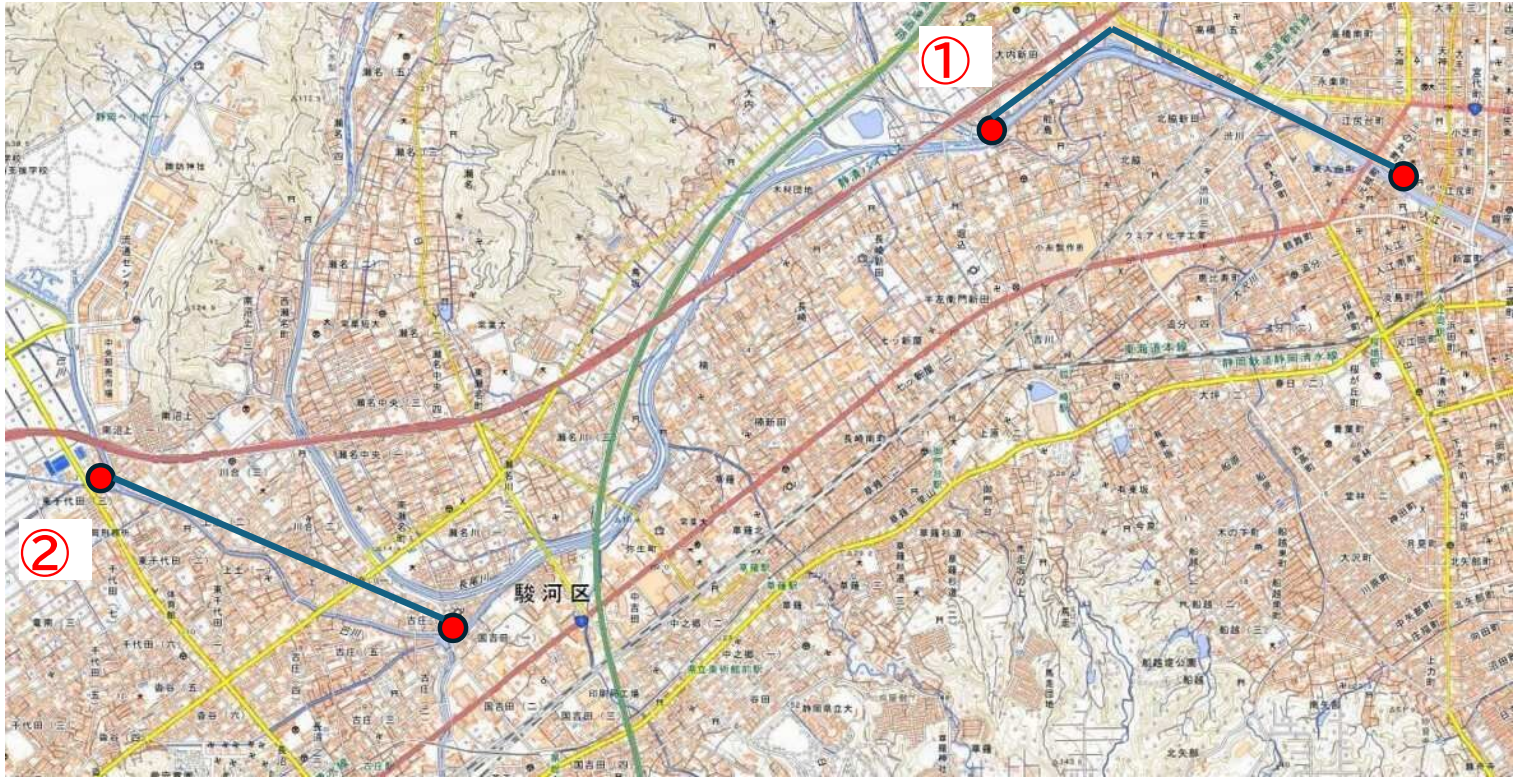
ごみ減量推進課 ごみ減量・リサイクル推進係 担当：伊熊、菅野（電話 054-221-1361）（静岡庁舎新館 13 階）

（2）特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」について

環境共生課 自然ふれあい係 担当：中村、宮川（電話 054-221-1319）（静岡庁舎新館 13 階）

巴川ごみ滞留状況調査&ナガエツルノゲイトウ拡散・定着状況調査 調査概要

- 調査区間 ① 高部みずべ公園（清水区能島）から江尻親水護岸（清水区江尻町）まで 約2.5km
② 上土巴川広場（葵区東千代田）から古庄大橋（葵区古庄）まで 約2.0km



調査のスケジュール

※ 駐車場所等の詳細案内は、取材申込みの際に地図を提供いたします。

時間	場所	内容	備考
09:30	清水衛生センター前	調査準備・ボート入水	約4台駐車可 (衛生センター駐車場)
10:00	高部みずべ公園	調査①開始（ごみ拾い・ナガエ調査）	
11:15頃 (見込)	江尻親水護岸	ボート引上げ、ごみ&ナガエの分析調査	駐車場所なし
(移動・休憩)			
13:30	静清BP高架下	調査準備・ボート入水	約4台駐車可（高架下）
13:45	上土巴川広場	調査②開始（ごみ拾い・ナガエ調査）	駐車場所なし
15:15頃 (見込)	古庄大橋	・大谷川放水路分岐のごみ拾い ・ボート引上げ、ごみ&ナガエの分析調査 ・取材対応（コメント等）	約8台駐車可 (県の河川管理敷地)

調査のイメージ写真



1 どうなる三保の松原 ナガエがあって困ること

1 どうなる三保の松原

ナガエは麻機遊水地から下流に流れ、大谷川・巴川河口まで到達しました。海水でも死滅しないナガエは海流や船で運ばれ、砂浜にも根付きます。世界遺産・三保の松原の砂浜もナガエだらけになるかも。

写真提供：常葉大学社会環境学部浅見研究室



2 水が流れなくなる

水面のナガエが増えるとゴミがたまり、水の流れも悪くなります。治水対策のために造成された麻機遊水地の本来の機能が果たせなくなることで、増水時に下流側で越水するなどの影響がでるかも。



3 お米やレンコンが

ナガエは田畑でも元気に育ち、農業が効きにくいのが特徴。ナガエが土の中の栄養や日光を奪うことで、作物の育ちが悪くなり収穫できなくなります。あさはた蓮根も収穫できなくなるかも。

3 今日からはじめよう！ 誰でもできるナガエ対策

1 知ろう・伝えよう

ナガエツルノゲイトウという厄介な外来植物の存在を知って、周りの人に伝えてください。

2 靴や道具についた土を落として帰ろう

靴の裏や作業で使った道具に土や泥、植物のかけらがついていませんか？ナガエを新天地に運んで分布を広げてしまわないよう、土や泥、植物のかけらは作業した場所で除去しましょう。



3 防除活動に参加しよう

ナガエの防除には地道で長い時間がかかるため、多くの力が必要です。生き物のすみか、遊び場、水がめなど様々な顔をもつ麻機遊水地について語りあい、楽しみながら、その魅力を一緒に守っていきましょう。地域をよくする活動に、ぜひご参加ください。



2 地球上最悪の侵略的植物 ナガエツルノゲイトウ って何者？

ナガエツルノゲイトウ（通称ナガエ）は南アメリカ原産の外来植物。観賞用に持ち込まれたものが捨てられ日本各地で野生化しています。その悪影響の深刻さから特定外来生物に指定され、「地球上最悪の侵略的植物」とも言われています。

最悪ポイント1 水陸両用・塩にも強い！

川、池、水路、田んぼ、畑、草地など水辺にも陸地にも定着する。水辺では大きな群落をつくるため在来水草の生育を妨げたり、水路をつまらせたりする。陸地では細い根を深く長く伸ばすため除去が難しい。田んぼに生えるとイネの収穫ができず、畑に入ると作物が育たなくなる。海でも枯れず、清水港周辺では群落も確認されている。ナガエに罪はないが、害があるので対策が必要。



最悪ポイント2 驚異の生命力！

ポキポキ折れて断片になりやすい上に、ふし1つからでも、直径2mmの太さの根っこからも発芽するほど再生力・繁殖力が強い。草刈機や農具、長靴や車についた断片が別の場所へ運ばれ、農地から農地へ広がっている。防除する時はネットを張ってふしや根が下流へ流れないようにしたり、断片を残さず拾いきってナガエを広げないよう丁寧な作業が必要。



資料作成：株式会社自然回復